

クロス廃材の圧縮処分

中部真栄会 仕上部会



名東産業(株)

1. テーマ設定の背景

21世紀は環境の世紀です。

建設現場においても環境を強く意識して施工に当る姿勢が急務です。

そこで当社は、建設現場での廃材処理費の削減を目的とし、止むを得ず発生する廃材自体の質を減らす為に、

リサイクルコンパクター(小型圧縮手動梱包機)を導入しました。



2. 一般的な工法

通常の建設現場では、発生する内装材の廃材を下記のような荷姿で混載や廃プラのパレットに詰め込んでおりました。

よって、質量としては軽いのですが、パレットへの詰め込み方によっては、無駄な空間が生じ、多大な処理費や輸送コストが発生していました。



3. 改善提案

通常は、当社倉庫にてリフォーム時のクロスの撤去材を主に圧縮しております。

現場設置した実例としましては、御社施工のシネプレックス岡崎新築工事にてシネマ内、GWシステム天井板の廃材の圧縮に使用いたしました。

施工数量として約2300㎡ありましたので、通常のロス10%の230㎡分の廃材を1/5以下に圧縮することが出来ました。又、併せて同現場で使用したクロス、ダイノックシートの廃材の圧縮にも使用し効果をあげました。

4. カイゼン効果の検証

廃材の量が、対象物によりますが1/3~1/5に圧縮する事が可能です。



5. 実施工における留意点

圧縮機の操作手順・注意事項等



















